

キラリ 熱中時間

地域密着のラジオ局『FMふっかちゃん』を開局！

深谷市にゆかりがあり、市内外で活躍する個人や団体を紹介します。



深谷コミュニティFM株式会社

代表取締役
伊藤眞治さん

パーソナリティ
ツカゴシ広海さん
放送ディレクター
大澤正基さん

ラジオで深谷を元気に！

FM放送の電波に乗せてローカルな情報を発信する『コミュニティFM』。今年の4月、そんな『コミュニティFM』が深谷市にも誕生しました。その名も『FMふっかちゃん』です。

「ラジオを通して深谷を元気にしたい！」という伊藤さんたちの熱い想いに、40人以上のボランティアスタッフが集まり、番組づくりや営業活動など各自の特技を生かして運営をしています。

パーソナリティのツカゴシさんもそのひとり。「深谷で新しいことが始まる！とワクワクして、自分で企画を持ち込みました。企画の実現に向けてみんなが協力的なので、番組づくりは『すべてが楽しい』の一言です。」と、いきいきと話してくれました。



▲スタジオで番組の収録を行うスタッフの皆さん
『FMふっかちゃん』はFMラジオ88.5MHzまたは無料アプリ『ListenRadio(リスラジ)』で聴取できます。詳しくは『FMふっかちゃん』のホームページをご覧ください。

また、放送ディレクター兼パーソナリティとして放送を統括している大澤さんは、「もともとラジオが好きなので、地元で活動できることがうれしいです。」と感慨深い様子で語ってくれました。

今後については、「小さな子どもからお年寄りまで多くのかたに聴いてもらえるようにしたいですね。『FMふっかちゃん』がリスナーから信頼され、災害時も役立ててもらえるよう、いろいろな仕組みづくりをしていきたいです。」と、まちの情報発信拠点としての心意気あふれる言葉が返ってきました。

開局して約半年が経ち、ますます活動の幅を広げる『FMふっかちゃん』から耳が離せません。

『農業』で

深谷を元気に！

深谷市では、『儲かる農業都市ふかや』の実現を目指し、『農業』を核とした産業のブランディングを進めています。
問い合わせ/産業ブランド推進室 ☎577 - 3819
産業ブランド推進室 検索

『深谷市地域通貨ネギー』100negiがもらえる！～キャンペーン実施中～

実施期間
9月30日(木)まで

『深谷市地域通貨ネギー』を
1,000円以上チャージしたかたへ
誰でも1回 100negi を贈呈します

※ポイント付与はチャージの約1週間後です

市内620店舗以上で
買い物も、食事も、体験もできる！
この機会に「ネギー」をチャージ
して深谷をお得に楽しもう！



『ネギー』の注目ポイント

- 利用額の1%をポイントバック！
- クレジットカードからのチャージで、クレジットカードのポイントももらえる！
- 一部のお店では、ポイントカードなどお店独自のポイントももらえる！

『ネギー』にチャージする際の注意

- ネギーのご利用には、スマートフォン向けアプリ『chiica』が必要です。お使いの端末ごとに、対応するアプリをダウンロードしてご利用ください。
- クレジットカードからのチャージには『本人認証サービス(3Dセキュア)』への登録が必要です。(『本人認証サービス』はご自身のクレジットカードに設定するものです。)



『ネギー』のチャージ方法など詳しくは下記QRコードからご確認ください



ふっかちゃんの日常から 深谷が見えてくる

ふっか 散歩

⑦ 渋沢栄一翁の銅像を巡る④

今日は、『深谷商業高校』に来たよ。渋沢栄一翁も創立に関わったんだって。今年で創立100周年！歴史を感じるねえ。さっそく敷地に入ってみるとレトロな建物を発見！これは、創立の翌年に建てられた校舎『二層楼』で、国登録有形文化財なんだって。今でも記念館として親しまれているよ。そして、手前に見える木は、栄一翁お手植えの松なんだよ。



⑧現在、一般公開は休止中だよ



◀◀栄一翁の像の上には、『至誠』『士魂商才』と書かれた自筆の書が飾ってあったよ。この言葉は、学校の校訓になっているんだって！

▼二層楼の中の展示室で、栄一翁の像に会えたよ。この銅像は、(株)ドールコーヒーの鳥羽名誉会長から寄付されたんだって。展示室には資料がいっぱい！栄一翁の紹介もあるよ。



ふっかちゃんのつぶやき

9月20日は敬老の日！
日ごろの感謝の気持ちを
おじいちゃんやおばあちゃんに伝えてねえ
Y(o)w(Oo)Y



心の広場

岡部小学校5年(現6年)
今井 碧咲さん



ふつうの暮らしを大切に

わたしが保育園のころの話です。保育園の友だちにAさんという女の子がいました。Aさんには障害があり、うまく歩けません。友だちや先生に支えられながら歩きました。外にみんなで散歩にゆくときなどは、車イスに乗って行きました。

わたしは、特にAさんの障害など気にしていませんでした。みんなAさんと仲が良かったです。わたしは、Aさんのことが大好きでした。Aさんはおもしろかったし、絵をかくたり、本を読んだり、いろいろな友だちと外で遊んだりもしていました。私にとってAさんは、ほかの友だちと特にちがいはありません。

でもある日、お母さんが、「園長先生からAさんにある子が、Aさんは障害があって歩けないんだから、赤ちゃん部屋に行って、と言ったそう

です。心あたりがあったら言ってください。と言っていたんだけど、みさき、そんなこと言ったことある？」と聞かれました。わたしはそんなこと言っていないし、Aさんがそんなことを言われていたの知りませんでした。わたしは、ひどいとも思ったし、何でそんなことを言ったのだろうと思いました。みんなAさんのことが好きなのかと思っていました。たしかにAさんはうまく歩けないけど、一人で歩こうととてもがんばっていました。わたしは心の中で「がんばれ」と思っていました。

わたしは、Aさんのようにがんばっている子を傷つけるのはよくないと思いました。人はそれぞれちがうし、だれでもいつケガをしたり病気になったり、歩けなくなったりするかわかりません。そういうとき、自分ならどうされたいか、考えてみるといいと思いました。総合の授業で、福祉とは、ふつうの暮らしをしあわせにすることだと学びました。障害のある人も、高れい者の人も、外国の人も、わたしも、どの立場の人も、だれにとっても、ふつうの暮らしをしあわせにすごせる社会になっていけるといいなと思います。